

平成 30 年度 事業報告書  
(平成 30 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日)

## 1 会員総会

### (1) 平成 30 年度定時会員総会

- 1) 日時 平成 30 年 6 月 19 日(火) 午後 1 時
- 2) 場所 KKR ホテル東京「朱鷺」の間 東京都千代田区大手町 1-4-1
- 3) 議事  
第 1 号議案  
平成 29 年度事業報告・貸借対照表・正味資産増減計算書に関する件  
第 2 号議案  
平成 30 年度会費及び賛助会費の額並びに納入方法決定に関する件

## 2 理事会

### (1) 平成 30 年度第 1 回理事会

- 1) 書面決議日 平成 30 年 6 月 5 日
- 2) 議事  
第 1 号議案  
平成 29 年度事業報告書・貸借対照表・正味財産増減計算書及び関連資料の件  
第 2 号議案  
平成 30 年度会費及び賛助会費の額並びに納入方法決定に関する件

### (2) 平成 30 年度第 2 回理事会

- 1) 日時 平成 30 年 6 月 19 日(火) 11 時
- 2) 場所 KKR ホテル東京「白鳥」の間 東京都千代田区大手町 1-4-1
- 3) 議事 平成 30 年度定時会員総会上程案の説明・審議に関する件  
第 1 号議案(総会付議事項)  
平成 29 年度事業報告書・貸借対照表・正味財産増減計算書及び関連資料の件  
第 2 号議案(総会付議事項)  
平成 30 年度会費及び賛助会費の額並びに納入方法決定に関する件

### (3) 平成 30 年度第 3 回理事会

- 1) 日時 平成 31 年 3 月 7 日(木) 11 時
- 2) 場所 KKR ホテル東京「朱鷺」の間 東京都千代田区大手町 1-4-1
- 3) 議事  
第 1 号議案  
2019 年度事業計画及び収支予算の承認の件

## 第2号議案

主たる事務所の移転及びこのことに伴う定款変更の件

## 第3号議案

2019年度定時会員総会及び理事会開催日程に関する件

### 4) 報告事項

平成30年度事業実施概要及び事業執行状況報告について

## 3 監事監査

(1) 日時 平成30年5月21日(月) 午後1時30分

(2) 場所 当協会事務所

## 4 事業の概況

(1) 一般事業（継続事業3）

### 1) 酪農ヘルパー要員の確保と普及啓発活動

酪農ヘルパー要員の確保を支援するため、当協会ホームページを活用して酪農ヘルパー関連情報の提供を行うとともに、各地域の利用組合からの要請に基づく「求人募集情報」を掲載した。

また、(一社)全国酪農協会が発行する全酪新報に酪農ヘルパー事業中央研究会及び酪農ヘルパーに係る記事の掲載や「酪農ヘルパー募集」を広告するなど、広く酪農ヘルパー事業に関する広報活動を展開した。

### 2) 酪農ヘルパー全国協会会長表彰事業

日本教育会館（東京都千代田区一ツ橋）で平成30年12月4日(火)、平成30年度酪農ヘルパー事業中央研究会(出席者102名)を開催し、酪農ヘルパー事業推進に功績あった役職員(1名)、技術に優れ功績が認められた酪農ヘルパー(16名)、新規就農された酪農ヘルパー(3名)に対して会長表彰を執り行った。

### 3) 会員団体等との事業連携

会員団体等が主催する研修会や会議等に職員を派遣し、酪農ヘルパー事業に関わる情勢報告及び要員確保等に関する意見交換を実施した。

① 7月17日

長野県本部酪農ヘルパー協議会（農協及び利用組合から21名）

② 11月6日

農林水産省 中央畜産技術研修会（受講者49名）

### 4) 酪農ヘルパーの養成活動

酪農ヘルパーに就業されて3年以上の経験を有する酪農ヘルパーを対象に、スキルアップ研修として「酪農ヘルパー専門技術員養成研修（中級者研修：1週間コース）」を北海道中央会 JA カレッジで開催(受講者8名)した。

また、酪農ヘルパー就職希望者で酪農未経験者を対象に、(公財)キープ協会高冷地実験農場(八ヶ岳)の受入協力を得て、高校生3名が酪農体験実習を受講した。

## 5) 傷害時補償制度の推進

臨時ヘルパーの出役中(往復途上含む)の事故傷害に対応するため「臨時酪農ヘルパー傷害保険(普通傷害)」の加入手続き及び加入促進を図った。

参加 都道府県数	利用組合数	加入ヘルパー 人数	保険料 総額(千円)
40	158	743	2,097

## 6) 傷害保険料の補助(当協会主催に限る)

酪農ヘルパー専門技術養成研修(117名)及び酪農体験実習(3名)時の研修生の傷害及び損害に対応するため「国内旅行傷害保険」に加入するとともに保険料(78千円)を全額負担した。

## (2) 酪農経営支援総合対策事業「酪農経営安定化支援ヘルパー事業」

(独立行政法人農畜産振興機構 公募事業) (継続事業1)

酪農ヘルパー要員の確保育成、酪農家の傷病時利用の負担軽減及びヘルパー利用組合の組織強化など、酪農ヘルパー制度を総合的に推進しゆとりある持続性の高い酪農経営に資するため、計画的に事業を実施した。

### 1) 酪農ヘルパー利用実態調査の実施

酪農ヘルパー制度の充実を図るため、平成30年8月1日現在の酪農ヘルパー利用組合の概況及び平成29年度酪農ヘルパー利用実績について調査を実施した。この結果は「酪農ヘルパー利用に関する資料(冊子)」として3月に発刊し、関係各位に配付して酪農ヘルパー事業推進のため活用する。

### 2) 酪農ヘルパー事業の広報

当協会ホームページでは「酪農ヘルパー」に関する様々なコンテンツを用意しており、酪農ヘルパーの具体的な仕事内容や就職するまでの流れなどを紹介している。このため、より見やすいホームページに改編し、酪農ヘルパー募集情報及び学生インターンシップの受入等の情報発信も積極的に展開した。また、職業としての酪農ヘルパーを広報するため「新農業人フェア」(9月池袋サンシャイン・12月大阪 OMM 天満橋・1月池袋サンシャイン)へ出展した。

### 3) 酪農ヘルパー専門技術員養成研修(初任者研修)の実施

酪農家の作業代行を責任持って担うとともに、新規就農支援にも対応するため、酪農情勢・搾乳技術・コミュニケーション力・牧草の知識・繁殖管理(生理)・哺育育成技術・疾病及び防疫・飼養環境・食品衛生・生乳流通など、酪農ヘルパーとして必要な基礎知識や専門技術を習得する「養成研修」を実施した。

※専門技術養成研修は中級者を含めて9回・119名が受講した。

開催場所	北海道	福島県	岡山県	合計
初任者研修Ⅰ (2週間)	<u>2回</u> 27名		<u>1回</u> 13名	<u>3回</u> 40名
初任者研修Ⅱ (1週間)	<u>4回</u> 64名	<u>1回</u> 7名		<u>5回</u> 71名
中級者研修 (1週間)	<u>1回</u> 8名			<u>1回</u> 8名
受講者計	99名	7名	13名	119名

(中級者研修は当協会事業)

**【酪農ヘルパー技能養成研修委託団体】**

一財)北海道農業協同組合学校(北海道江別市)

独法)北海道立総合研究機構 新得畜産試験場(北海道新得町)

独法)北海道立総合研究機構 根釧農業試験場(北海道中標津町)

ホクレン農業協同組合連合会 農業総合研究所 訓子府実証農場(北海道訓子府町)

一財)蔵王酪農センター(宮城県蔵王町)

全国酪農業協同組合連合会 酪農技術研究所(福島県矢吹町)

公財)中国四国酪農大学校(岡山県真庭市蒜山)

**【体験実習受入団体】**

公財)キープ協会高冷地実験農場(山梨県北斗市)

JA 全農長野 八ヶ岳牧場(長野県南牧村)

(順不同)

4)優良事例発表会等の開催

酪農ヘルパー事業の充実及び優良事例の普及啓発を図るため、平成30年12月4日(火)に「酪農ヘルパー事業中央研究会」を日本教育会館(東京都千代田区)で開催した。

基調講演として「ヘルパー作業における搾乳機器の取扱いと注意点について(オリオン機械株式会社酪農事業本部 土屋政幸氏・越田健太郎氏)」、事例発表は「会社設立の経緯と酪農ヘルパー事業の取組み(株式会社ASAHI サポートセンター専務 小島友喜氏)」「地域酪農を支える人財になるために(葛巻町酪農ヘルパー利用組合専任ヘルパー 木戸場真紀子氏)」「酪農ヘルパーから新規就農へ(矢野琢也・愛氏)」の6氏から報告を頂いた後、大会参加者との意見交換が行われた。

当日は、国・独立行政法人農畜産業振興機構・中央団体・都道府県団体・各地の利用組合・酪農ヘルパーなど約100名が参加した。

#### 5) 学生インターンシップの実施

酪農ヘルパーの要員不足解消と、酪農ヘルパー業務の認知度向上を目的に昨年度に引き続き学生インターンシップに取り組むこととなり、平成 30 年度は都道府県型として 6 県団体（青森県、岩手県、宮城県、栃木県、兵庫県、熊本県）が取り組むこととなった。

また、全国型としては、当協会が主体となり大学 1～3 年生を対象に独立行政法人家畜改良センター岩手牧場（8 月開催/5 名）及び新冠牧場（9 月開催/3 名）の協力を得て学生インターンシップを実施した。

#### (3) 酪農経営支援組織経営向上推進事業（28～30 年度事業の最終年度）

（日本中央競馬会 畜産振興事業 公募事業） （継続事業 2-①）

持続可能な酪農経営のためには、それを支えるヘルパー利用組合の経営が健全であることが重要であることから、ヘルパー要員の確保定着や労務環境の課題に取り組んでいる優良事例調査を実施した。また、利用組合の経営課題を解決するため岡山県畜産協会非常勤コンサルタントの本松秀敏氏を招いて経営セミナーを計画に基づき実施した。

（30 年度の取組実績）

項目	実施地域	調査団体(参加者)	実施時期
事業推進委員会	東京都	事業推進委員	5 月
			3 月
優良事例調査	北海道	北ひびき酪農ヘルパー利用組合	7 月
	北海道	下川町酪農ヘルパー利用組合	7 月
	千葉県	ちばミルク南部ヘルパー利用組合	8 月
	千葉県	袖ヶ浦酪農ヘルパー利用組合	8 月
	青森県	ゆうき青森農協ヘルパー利用組合	9 月
	岩手県	胆江地区酪農ヘルパー利用組合	9 月
経営向上セミナー	盛岡会場	12 名	10 月
	博多会場	8 名	10 月
	東京会場	5 名	11 月
	高松会場	8 名	11 月

#### (4) 酪農労働力セーフティネット強化事業（29～30 年度最終年度）

（日本中央競馬会 畜産振興事業 公募事業） （継続事業 2-②）

傷病による酪農経営離脱を抑制する酪農ヘルパー利用支援策を検討するための検討会を設置し、酪農ヘルパー制度及び酪農互助制度に関する利用組合への追加アンケート調査、傷病時利用の取組事例調査(国内・国外)、傷病時利用保険制度の導入検討について計画に基づき実施した。

(30 年度の取組実績)

項目	実施地域・対象	調査団体(参加者)	実施時期
事業推進委員会	東京都	事業推進委員	5月 3月
傷病時利用体制強化検討会	東京都	事業検討会委員	7月 2月
国内事例調査	北海道	南渡島酪農ヘルパー利用組合	6月
	北海道	八雲ディリーハッピーワーク利用組合	6月
	宮崎県	都城地域酪農ヘルパー利用組合	9月
	宮崎県	宮崎中央地区第一酪農ヘルパー利用組合	9月
	徳島県	徳島県酪農協ヘルパー利用組合	11月
国外事例調査	スイス・フィンランド	調査員 3 名・事務局 1 名	8月
追加アンケート調査・分析	利用組合	利用組合 231 団体	9月

(5) 酪農ヘルパー業務適正化効率化事業 (30～31 年度事業の初年度)

(日本中央競馬会 畜産振興事業 公募事業) (継続事業 2-③)

酪農ヘルパーの就業定着化を促進させるため検討部会を設置し、酪農ヘルパーを対象に労働環境や職場内環境のアンケート、酪農ヘルパーと酪農家を対象に牛舎内作業手順事例を収集した。また、利用組合での酪農家台帳等の整備を促すための事例現地調査を計画に基づき実施した。労働環境の改善を促すために酪農ヘルパーアンケート結果については、今年度内に利用組合に配付する。

(30 年度の取組実績)

項目	実施地域・対象	調査団体(参加者)	実施時期
事業推進委員会	東京都	事業推進委員	5月 3月
ヘルパー業務検討部会	東京都	事業検討部会委員	7月 2月
牛舎内作業手順の事例収集	全国 (抽出)	酪農ヘルパー353 事例、酪農家 342 事例 (各 400 事例を依頼)	9月
事例調査	北海道	小清水町酪農ヘルパー運営有限責任事業組合	11月
	北海道	有限会社ファム・エイ	11月
	千葉県	千葉県酪農農業協同組合連合会	1月
	千葉県	みるく農協東部ヘルパー利用組合	1月
アンケート実施	全国	専任ヘルパー 1062 名中 503 名回答	9月

## 5 会員の動向(平成 30 年度)

区分	会員			賛助会員
	中央団体	都道府県団体	合計	
期首	13	44	57	12
期末	13	44	57	12
増減	0	0	0	0

## 6 職員の動向(平成 30 年度)

区分	職員(受入出向含む)	臨時職員	合計
期首	5	1	6
期末	5	1	6
増減	0	0	0

(末日付けの退職者は本年度減少に含む)